

令和6年度 小田原東高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	公務の内外にかかわらず、信用失墜行為の防止を心掛け行動する。	職員会議や朝の打合せ等において、機会あるごとに、啓発・点検資料及び新聞記事等を用いて注意を喚起し、未然防止に努めた。結果として、教育公務員としての意識が高まり、不祥事を防ぐことができた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	パワハラ、セクハラ、マタハラ等のない学校、職場を実現する。	ハラスメントの未然防止ために、校内の巡回や職場環境の整備を行った。また、風通しの良い職場づくりのために「報告・連絡・相談」について職員に周知し、職場環境の改善等に努めた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ、セクハラ等のない、生徒にとって安心かつ安全な学校を実現する。	4月当初に研修会を実施し、生徒への連絡手段の確認及び連絡先収集手段について職員に周知した。また、12月に、人権研修会を実施して、教育公務員としての意識向上を図った。
体罰、不適切な指導の防止	基本的人権の尊重の精神に基づき、体罰や不適切指導のない学校を実現する。	人権に関する研修会を実施し、職員の意識向上に努めるとともに、タイムリーな話題等の新聞記事を活用して体罰厳禁及び生徒の基本的な人権尊重について共通理解を深めた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理、調査書発行に係る不適正事案のない学校を実現する。	入学者選抜業務においては、業務内容に関する研修会を数度実施し、入学者選抜業務の周知徹底を図った。また、成績処理については、新たなチェック項目を設け、事故防止に努めた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適切な管理に努め、日常的な管理の徹底と事故防止を図る。	情報セキュリティ対策として、職員会議等を利用して研修会を実施した。また、生徒の個人情報収集について、事前に保護者から承諾を得ること、保管・持ち出しについては台帳を作成し、適正な手続きの徹底を図った。
交通事故の防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	生徒に交通安全教育を行う立場として、自ら交通違反、交通事故を起こさない。	交通法規の遵守・交通事故防止に向けて、報道等の資料を基に定期的に職員に注意喚起を行った。また、日常的に朝の打合せ・職員会議等で交通法規遵守や交通マナーの徹底を周知した。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	コンプライアンス（法令遵守）に基づいて、適正かつ円滑な業務執行を行い、働き方改革を進める。	企画会議及びグループ会議等で業務の精選を図るとともに、ICTを利活用することで業務の効率化を実施した。また、Teams等を活用することで、打合せ時間短縮やペーパーレス化に努めた。
財務事務等の適正執行	私費会計基準に則った私費会計の適切で円滑な執行に努める。	年度当初に、私費会計に係る文書を配布し、適切な処理を行うように周知した。また、10月に再度、会計処理についての研修会を実施し、理解を深めた。財務事務調査の結果については、良好であり、職員会議でその内容を周知した。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

事故・不祥事ゼロを目標に、定期的な研修会等や様々な事例を挙げて職員の意識を喚起し、事故防止に努めてきた。結果は概ね達成できている。今後は、若手職員の増加による世代間ギャップへの対応や服務規律の徹底を周知するために、自分ごととして捉えられる新たな研修を実施する必要がある。